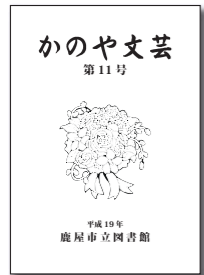


## 鹿屋 申良 吾平 図書館エッセイコンテストの 入賞者を表彰



受賞者のエッセイは、「かのや文芸」に掲載しており、図書館などで読むことができます。

本を読む面白さや文章を書く楽しさを知ってもらおうと毎年行われている図書館エッセイコンテストの特選受賞者と入選受賞者に賞状が渡されました。特選受賞者は、次のとおり（敬称略）。

- 小学生の部=かれん川ひなた、よし田ゆう生、ふるかわかれん、繁昌菜耶、中村恵美梨、一ノ宮綾佳
- 中学生の部=赤崎翔悟
- 高校生の部=尾田原千里
- 一般の部=山口千代実、吉田久美

## 鹿屋 KANOYA 全国商業高等学校検定試験 全8種目の1級取得は県内初の快挙



12月14日、全国商業高等学校協会主催の情報処理・商業英語・経済などの検定試験全8種目で1級を取得した鹿屋女子高等学校3年生田畑香織さん（左）、古里あずささん（中）、弓削友希菜さん（右）が市役所を訪れ喜びを報告しました。

就職・進学の際に高く評価されている同検定試験は、1種目でも1級を取得するのが難しいと言われている中で、全8種目の1級取得は県内初の快挙。夏休みや冬休みに補習を受けるなど、先生たちと二人三脚で1級取得を目標に頑張ってきた3人は「1級取得を目指した頑張りや糧にして、次は将来の目標に向かって頑張ります」と抱負を話してくれました。

## 申良 KUSHIRA 内閣総理大臣賞・総務大臣表彰のダブル受賞を報告



12月14日、「平成19年度あしたのまち・くらしづくり活動賞」（内閣府等主催）のまち・くらしづくり活動部門の最高賞である内閣総理大臣賞と、地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰（総務省主催）を受賞した申良町の柳谷町内会（豊重哲郎会長、西倉正人副会長、有島俊哉老人会長）が市役所を訪れ、ダブル受賞の喜びを報告しました。

2つの表彰は、いずれも住民総参加型の地域づくりに貢献したことが評価されたもので、豊重会長は「地道な活動が評価されうれしい。受賞を励みにこれからも行政にたよらない地域づくりに取り組みたい」と喜びを話してくれました。

## 吾平 AIRA 交通安全 街頭キャンペーンを実施



12月10日、下名小ソフトボールスポーツ少年団員など23人が、同小近くの交差点で、交通安全街頭キャンペーンを行いました。

この活動は「地域に貢献したい」と始められたもので、今年で5年目。ユニホーム姿の団員たちは「安全運転をお願いします」とドライバーに元気よく声をかけながら、眠気覚ましや手作りのメッセージカードを配布しました。

## 鹿屋 輝北 申良 吾平 障害者週間に作品展示



12月3日から9日の『障害者週間』にあわせ、鹿屋市社会福祉会館で、肝属地区障害者総合相談支援センター開設1周年記念イベントが開催されました。

障害者福祉への関心と理解を深める目的としたイベントでは、在宅や施設利用の障害者などの作品展示をはじめ、即売会や映画上映、講演会などが行われ、期間中約500人が訪れました。

## 申良 KUSHIRA 健康の大切さを再確認



12月11日、申良ふれあいセンターで「申良ふれあい健康福祉フェア」が開催されました。

フェアでは、泊平八郎さんの講演会が行われたほか、健康相談や筋力トレーニング体験コーナーなどがあり、訪れた多くの人が健康の大切さを再確認していました。

また、広場ではグラウンド・ゴルフ大会が開催され、参加者は心地よい汗をかいていました。

## 鹿屋 KANOYA ブラジル研修生が 表敬訪問



12月4日、ダイドーブラジル商事の研修生となった鹿屋市出身の山下琢磨さんと下松八重ひとみさんが、市役所を表敬訪問しました。

二人は、新聞社で記者として働きながらブラジルで1年間研修予定。山下さんは「サッカーを通してブラジルという国を学びたい」、下松八重さんは「ブラジルの文化などを学んで国際交流に貢献したい」と抱負を話してくれました。

## 鹿屋 申良 全国バレーボール大会に 県選抜チームとして出場



12月13日、「全国都道府県対抗中学バレーボール大会」の県選抜チームに選ばれた福留弘之さん（花岡中）と黒木隆生さん（申良中）が、市役所を表敬訪問しました。

二人はレギュラーとして出場予定で、福留さんは「お世話になった方に感謝の気持ちを忘れずに頑張りたい」、黒木さんは「練習の成果を精一杯出せるよう頑張ります」と決意を話してくれました。

## 輝北 KISHIRO 百引中が 全国中学駅伝で健闘



12月15日、山口県セミナーパーククロスカントリーコースで開催された「第15回全国中学校駅伝大会女子の部」に百引中学校が県代表として出場しました。

同大会は、中学駅伝の日本一を決める大会で、全国の都道府県から48校が参加し、百引中は2年ぶり2回目の出場。選手たちは、全力を尽くして「たすき」をつなぎ、35位と健闘しました。

## 鹿屋 KANOYA 全日本小学生 ソフトボール大会に出場



12月25日、第1回春季全日本小学生ソフトボール大会に出場する西原台小学校ソフトボールスポーツ少年団や監督など25人が、市役所を表敬訪問しました。

同スポーツ少年団は、県予選大会で見事優勝し、全国大会の切符を獲得。郷原監督が「大会では、勝ち負けにこだわらず、選手がこれまで積み重ねてきた努力の成果を発揮して欲しい」と抱負を述べました。